

令和 7 年度に実施した研究課題評価の結果について

1 中間評価について

(1) 評価の目的

これまでの進捗状況や目標達成可能性、研究を取り巻く状況の変化等の観点から、引き続き研究を続けることの適否を判断するための有用な情報を提供する。

(2) 評価対象

評価実施年度（R 7）に予算計上している継続研究課題。
ただし、研究開始年度及び終了年度にあるものは除く。

(3) 評価方法

① 内部評価委員会による評価を実施。

研究開始から奇数年度はヒアリング形式、偶数年度は書面形式により行う。

② 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
必要性	ニーズの状況変化 (a、b、c)	政策の転換や産業界・県民生活におけるニーズの変化等、研究を取り巻く状況の変化をみる。
有効性	研究開発効果 (a、b、c)	最終目標に到達した場合に、研究の成果が本県産業の振興や県民生活の向上に十分に貢献できるかをみる。
目標達成可能性	進捗状況及び目標達成阻害要因の状況 (a、b、c)	研究課題設定時の研究計画及び計画の修正記録等を基に評価時までの進捗状況を、技術水準、これまでの研究成果、他の研究主体の動向、研究資源、新たな課題の発生等の状況を基に目標達成を阻害する要因の状況をみる。
総合評価 (A、B、C、D)		次年度以降引き続き実施すべきか、また実施する場合の優先度を判断する。

(4) 総合評価の結果

評価結果	判定基準（項目評価の合計点）	課題数
A	9～8点	9課題
B	7～6点	10課題
C	5～4点	0課題
D	3点	0課題
合計		19課題

(5) 評価結果一覧(中間評価)

評価基準日 令和7年4月1日

No	研究機関名	課題名	事業年度	ヒアリング実施	ニーズの状況変化	効果	進捗状況・目標達成阻害要因	総合評価	資料4
1	総合食品研究センター	網羅的解析データを活用した県産食品・素材の競争力強化手法の開発	R6 ~ R8		a	b	b	B	1
2	健康環境センター	八郎湖西部承水路におけるSSの環境動態解析	R6 ~ R8		b	b	b	B	7
3	農業試験場	大規模水田作におけるスマート農業技術を活用した労働及び土地生産性向上技術の確立	R4 ~ R8		a	b	b	B	13
4	農業試験場	高密度播種苗による良食味米品種の省力安定生産技術の確立	R4 ~ R8		a	a	b	A	19
5	農業試験場	生産・物流現場に求められる条件に対応する新たな複合品目の提案	R6 ~ R8		a	b	b	B	25
6	農業試験場	秋田の米ぢからを強化する銘柄米の開発	R6 ~ R10		a	a	b	A	31
7	農業試験場	秋田の夏秋期の生産力を引き出す野菜栽培技術の開発	R6 ~ R10		a	b	b	B	37
8	果樹試験場	園地更新や新規参入を促す新たな果樹栽培技術に適応する品種の選抜	R3 ~ R12	○	a	a	b	A	43
9	果樹試験場	リンゴの土着天敵フル活用のための持続可能な環境負荷低減防除体系の構築	R4 ~ R8		a	a	b	A	51
10	果樹試験場	雨よけ施設を活用した果樹の省力・高収益生産モデルの構築	R5 ~ R9	○	a	a	b	A	58
11	畜産試験場	比内鶏の始原生殖細胞および精液の凍結保存に関する研究	R6 ~ R8		a	a	b	A	65
12	水産振興センター	磯根資源の管理と蓄養技術の開発	R4 ~ R8		a	a	b	A	71
13	水産振興センター	ハタハタ等重要魚種の漁場予測技術の開発	R6 ~ R10		a	a	b	A	77
14	水産振興センター	内水面重要魚種の増殖・管理技術の開発	R6 ~ R10		a	b	b	B	83
15	林業研究研修センター	多様な樹種構成による秋田の海岸防災林造成技術の開発	R4 ~ R8		a	b	b	B	89
16	林業研究研修センター	再造林オプションとしての広葉樹林施業技術の刷新	R5 ~ R9	○	a	b	b	B	95
17	林業研究研修センター	シイタケ生産の経営基盤を強化する新たなキノコの導入と栽培システムの構築	R6 ~ R10		b	b	b	B	103
18	産業技術センター	AI導入支援パッケージの開発とその高度化	R6 ~ R8		a	b	b	B	109
19	産業技術センター	生産性向上に寄与する有機/無機複合コーティング技術の開発	R6 ~ R8		a	a	b	A	115

2 事後評価について

(1) 評価の目的

最終到達目標の達成度、研究成果の効果の観点から研究結果を評価し、次期研究計画の策定等に活用する。

(2) 評価対象

評価実施年度の前年度（R 6）に研究期間が終了した研究課題。

(3) 評価方法

① 内部評価委員会による評価を実施。

原則としてヒアリングにより実施。研究が、類似の研究課題に継続される場合は書面により実施。

② 評価の観点及び評価項目

評価の観点	評価項目	評価内容
目標達成	最終到達目標の達成度 (a、b、c)	研究計画で設定した最終到達目標の達成状況をみる。
有効性	研究成果の効果 (a、b、c)	研究成果の受益対象者の設定、成果の活用方法を踏まえ、研究成果の効果の評価する。
総合評価 (A、B、C)		最終到達目標の達成度、研究成果の効果から研究課題を総合的に評価する。

(4) 総合評価の結果

評価結果	判定基準（項目評価の合計点）	課題数
A	6点	2課題
B	5～4点	12課題
C	3～2点	0課題
	合計	14課題

(5) 評価結果一覧(事後評価)

評価基準日 令和7年4月1日

No	研究機関名	課題名	事業年度	ヒアリング 実施	目標 達成度	効果	総合 評価	資料5
1	総合食品研究センター	生産地加工における農林水産物の高付加価値化	R4 ~ R6	○	b	b	B	1
2	総合食品研究センター	新規麹菌を用いた新たな秋田オリジナル甘酒の開発	R4 ~ R6	○	a	b	B	8
3	総合食品研究センター	新しい生活様式に対応した低アルコール及び複合型アルコール飲料の開発	R4 ~ R6	○	a	a	A	15
4	総合食品研究センター	ライフステージに応じた機能性食品の開発	R4 ~ R6	○	b	b	B	22
5	総合食品研究センター	輸出向け発酵調味料の開発	R5 ~ R6	○	b	b	B	29
6	総合食品研究センター	発酵特性デザインを可能とする味噌用酵母育種技術の検討	R6 ~ R6	○	b	b	B	36
7	農業試験場	花きの市場競争力強化を目指した新栽培技術の開発	R2 ~ R6	○	b	b	B	43
8	農業試験場	野菜オリジナル品種の育成と親系統等の増殖	R2 ~ R6	○	b	b	B	52
9	農業試験場	新規就農者の現状と課題及び中等教育以前のキャリア教育実態の把握	R4 ~ R6	○	b	b	B	60
10	農業試験場	水稲作における新たなケイ酸・カリ供給量の推定方法の開発と施用基準の策定	R4 ~ R6	○	b	a	B	67
11	果樹試験場	多雪地帯におけるリンゴジョイント栽培の生産性および耐雪性評価	R2 ~ R6	○	b	b	B	74
12	畜産試験場	比内地鶏の肉質及びおいしさの日齢変化に関する研究	R3 ~ R6	○	a	b	B	81
13	水産振興センター	種苗生産・放流技術の高度化に関する研究	R2 ~ R6		a	b	B	92
14	林業研究研修センター	秋田スギの低密度植栽に対応した新施業体系の確立	R2 ~ R6	○	a	a	A	99

令和7年度研究課題評価内部評価委員会委員名簿

機関名	評価委員会 開催日	評価委員の所属・職名	氏 名	代理出席
総合 食品研究 センター	6月10日(火)	農業試験場 企画経営室長 食のあきた推進課 課長 総合食品研究センター 所長 総合食品研究センター 総務企画室長 総合食品研究センター 食品加工研究所長 総合食品研究センター 醸造試験場長 総合食品研究センター 醸造試験場主席研究員	小松 寿 佐藤 はるか 黒澤 正弘 高橋 勝則 高橋 徹 畠 恵司 戸松 さやか	
健康環境 センター	6月9日(月)	保健・疾病対策課 課長 環境管理課 課長 環境管理課八郎湖環境対策室 室長 健康環境センター 所長 健康環境センター 室長	清野 穰 田村 高志 藤原 慶一郎 大門 洋 佐藤 一人	
農業 試験場	5月20日(火)	農林政策課 スマート農業推進監 水田総合利用課 課長 園芸振興課 課長 農業試験場 場長 農業試験場 企画経営室長 農業経済課販売戦略室 室長	本庄 求 伊藤 恒徳 石澤 浩樹 川本 朋彦 小松 寿 坂下 豪	農林政策課長代理
果樹 試験場	5月20日(火)	農林政策課 チームリーダー 園芸振興課 課長 果樹試験場 場長 果樹試験場 総務企画室長	上村 大策 石澤 浩樹 中尾 学 舟山 健	農林政策課長代理
畜産 試験場	5月20日(火)	農林政策課 政策監 畜産振興課 課長 畜産試験場 場長 畜産試験場 総務企画室長	品田 聡 小林 満 小棚木 栄作 加藤 真姫子	農林政策課長代理
水産振興 センター	5月19日(月) (書面審査のみ)	農林政策課 課長 水産漁港課 課長 水産振興センター 所長 水産振興センター 総務企画室長	大友 秀樹 高橋 俊行 中林 信康 斎藤 和敬	
林業 研究研修 センター	5月20日(火)	農林政策課 課長 園芸振興課 課長 林業木材産業課 課長 森林資源造成課 課長 森林環境保全課 課長 林業研究研修センター 所長	大友 秀樹 石澤 浩樹 真崎 博之 永井 秀樹 小野 圭 千葉 崇	
産業技術 センター	5月26日(月)	産業技術センター 所長 産業技術センター 企画事業部長(兼)共同研究推進部長 産業技術センター 先進プロセス開発部長 産業技術センター 素形材開発部長 産業技術センター 電子光応用開発部長(兼)先端機能素子開 地域産業振興課 課長	杉山 重彰 経徳 敏明 内田 富士夫 佐々木 信也 菅原 靖 藤原 浩二	